

平成24年度  
実施事業

事務事業名	登別市特別支援教育振興協議会交流学習事業補助金
-------	-------------------------

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	3	③特別支援教育体制づくり
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 15 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	学校教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください) 特別支援教育指導内容の研究及び実践を進めている登別市特別支援教育振興協議会（登別市特殊教育振興協議会 改め）が、実施する交流学習事業に対し補助を行うことにより、心身に障がいのある児童・生徒の能力と個性を伸ばし、将来における社会人としての自立と社会参加を促すことを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) 心身に障がいのある児童・生徒の能力と個性を伸ばし、将来における社会人としての自立と社会参加を目指すため、特別支援教育指導内容の研究及び実践を進めている登別市特別支援教育振興協議会（登別市特殊教育振興協議会 改め）が、実施する交流学習事業に対し補助を行った。 【交流学習事業】 ・目的 集団参加の能力を高め、社会性を養い、好ましい人間関係を育てるなかで生活や学習経験の拡大を進め、日常生活において必要なスキルや、生活自体への意欲向上を図る。 ・内容 合同学習等を実施し、直接的な交流活動を行う。（自己紹介、公共施設の利用の仕方、自然体験、調理学習、ルール理解、公共交通機関の利用法、造形活動、食事指導等）
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) 今後とも障がいのある児童生徒の自立と社会参加能力向上のため特別支援教育の振興を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分	単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金 名称	千円					
道支出金 名称	千円					
地方債 名称	千円					
その他 名称	千円					
一般財源 名称	千円	295	295	295	295	295
事業費 合計		295	295	295	295	295

指標の推移 《Check》

区分	単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	①	交流学習実施回数	目標値	9	9	9	9
			実績値	8	7		
	②	研修会実施回数	目標値	4	4	4	4
			実績値	3	2		

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
心身に障害のある児童生徒が将来、社会人としての自立と参加を目指すため、本協議会による交流学习事業を実施。	本事業を継続的に行うことにより、特別支援教育の更なる推進を図る。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 各学校において、少人数で学習することが多い児童生徒にとって本協議会が実施する事業は、社会参加に必要な集団行動の能力、社会性を養う貴重な学習となっている。この学習の場を確保するため、本事業に対し、市が補助することは妥当である。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 特別支援教育の振興を図る上でも必要な事業である。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 本協議会の運営は、市の補助と保護者の積立金により行われており、補助金の削減は協議会事業実施を困窮させる恐れがある。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 日頃と異なる環境下での学習は、児童生徒の能力向上に更なる影響を与えている。
	<input type="checkbox"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	心身に障がいのある児童生徒の自立と社会参加を目指すために必要な事業であるため。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)